marantz®
PROFESSIONAL

WV-1200 TX（送信機）
WV-1200 RX（受信機）

取扱説明書

SS映像伝送装置

安全上のご注意

ご使用の前に必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。
またお読みになったあと、必要に応じていつでも見られる所に必ず保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。絵表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

	この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみの発生が想定される」内容です。

絵表示の例

感電注意

△記号は注意（危険・警告）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は、感電注意）が描かれています。

分解禁止

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は、分解禁止）が描かれています。

設置されるとき

⚠ 警告

禁止

- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

水場での使用禁止

- 水場では使用しないでください。火災の原因となります。

禁止

- 振動・衝撃の多い場所に置かないでください。落ちて、けがの原因となることがあります。
- 本機の上に水などの入った容器を置かないでください。こぼれた場合、火災の原因となります。
- 本機を使用できるのは日本国内のみです。

⚠ 注意

禁止

- 直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に置かないでください。火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災の原因となることがあります。
- 調理室や加湿器のそばなど湯煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災の原因となることがあります。

ご使用になるとき

⚠ 警告

禁止

- 本機の上や近くに水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災の原因となります。

注意

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災の原因となります。すぐに本機本体の電源スイッチを切ってください。煙等が出ている状態で電源スイッチを切る場合は、ケースが加熱してやけどの危険がありますので、かならず厚手の手袋等をつけて電源スイッチを切ってください。煙が出なくなるのを確認して取扱店に修理をご依頼ください。
- 万一、本機の内部に水または金属類が入った場合は、本機の電源スイッチを切って取扱店にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。
- 万一、本機を落としたり、破損した場合は、まず電源スイッチを切って取扱店にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。

分解禁止

- 本機を分解・改造しないでください。火災・やけどの原因となります。

禁止

- 乳幼児の手の届かないところで使用・保管してください。おとしたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

注意

- 本機を長期間ご使用にならないときは、ACアダプターを本機から取り出してください。火災の原因となることがあります。

ACアダプターについて

⚠ 警告

注意

- ACアダプターは幼児の手の届かないところへ置いてください。

禁止

- ACアダプターの上にろうそく等の炎が発生しているものを置かないでください。火災の原因になります。

⚠ 注意

禁止

- 当社指定のACアダプター以外を使用しないでください。火災の原因となります。
- ACアダプターの電極はショートさせないでください。発熱によりやけどの原因となります。
- 電池は金属性のボールペン、ネックレス、コインなどと一緒に携帯、保管しないでください。電池のプラス(+)端子とマイナス(-)端子の間がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。

お手入れについて

⚠ 注意

注意

- 外装をベンジンやシンナー系の液体で拭いたり、近くで殺虫剤を散布することは避けてください。表面を傷める原因となりますので、お手入れは必ず柔らかい布でからぶきしてください。
- 1年に一度くらいは、内部の掃除を取扱店にご相談ください。
- お手入れの際は、電源を切り、ACアダプターを本機から取り外してから行ってください。事故の原因となることがあります。

連絡先：〒104-0033 東京都中央区新川一丁目21番2号 茅場町タワー13階
（株）D&Mホールディングス プロフェッショナルビジネスカンパニー
TEL : (03) 6731-5588　E-mail : pro-gr@marantz.co.jp

Printed in Japan　08/2004 ecmh　00M16BS851020

WV-1200 TX（送信機）
WV-1200 RX（受信機）

取扱説明書

SS映像伝送装置

ご使用の前に必ずお読みください。

このたびは、WV-1200をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。WV-1200の優れた性能を十分発揮させるとともに、末永くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用前に必ずお読みください。お読みになったあとは、必要に応じていつでも取り出せる所に、保証書とともに大切に保管してください。

概　要

本機は、Unislot対応のCCDカメラ用無線方式の映像伝送、音声伝送装置（※1）です。映像は、MPEG2を使用した高フレームレートの高画質ビデオ伝送です。
第2世代小電力データ通信システムのスペクトラム拡散方式による高速データ伝送機能により前記目的を実現しています。
ご使用の際には無線従事者および無線局免許申請の必要はありません。
※音声伝送は、Unislot ver2対応機種のみ

特　徴

- 2.4GHz帯スペクトラム拡散方式映像・音声伝送
- 高画質、高フレームレート映像伝送
- 30フレーム/Secのフルモーションビデオ
- 音声（ステレオ）の伝送

使用上の注意

- 本機の分解、改造等は電波法で禁止されております。絶対に行わないでください。
- 本機は防水・防塵ではありません。
- 湿度の低いところ、湿度の高い、直射日光の当たる場所では使用しないでください。
- 本機は電波法第4条「技術基準適合証明を受けた無線局」です。証明ラベルは絶対にはがさないでください。証明ラベルをはがすと、技術基準適合機としての効力を失い、使用できなくなります。
- 送受信機のペアごとに異なるIDが設定されています。同じ製造番号（ID）のペアでのみ映像/音声の伝送ができます。
- 本機は、送信1対受信1の設計になっています。送信1対受信複数といった使用は、不可能な設計になっています。
- 本機の送信機は、Unislot対応のカムコーダーのみ装着可能です。
- 本機の音声はカムコーダーの音声信号が、0dbm（600Ωバランス）+9dBを超えると歪みが悪化します。音声レベルの設定にはご注意ください。
- 音声レベルの歪みを防ぐ為にカムコーダーのリミティングを入れてお使いなることを推奨致します。
- 無線で使用できる範囲は付属のアンテナを送受信機に使用した場合、直線見通しで約100mです。

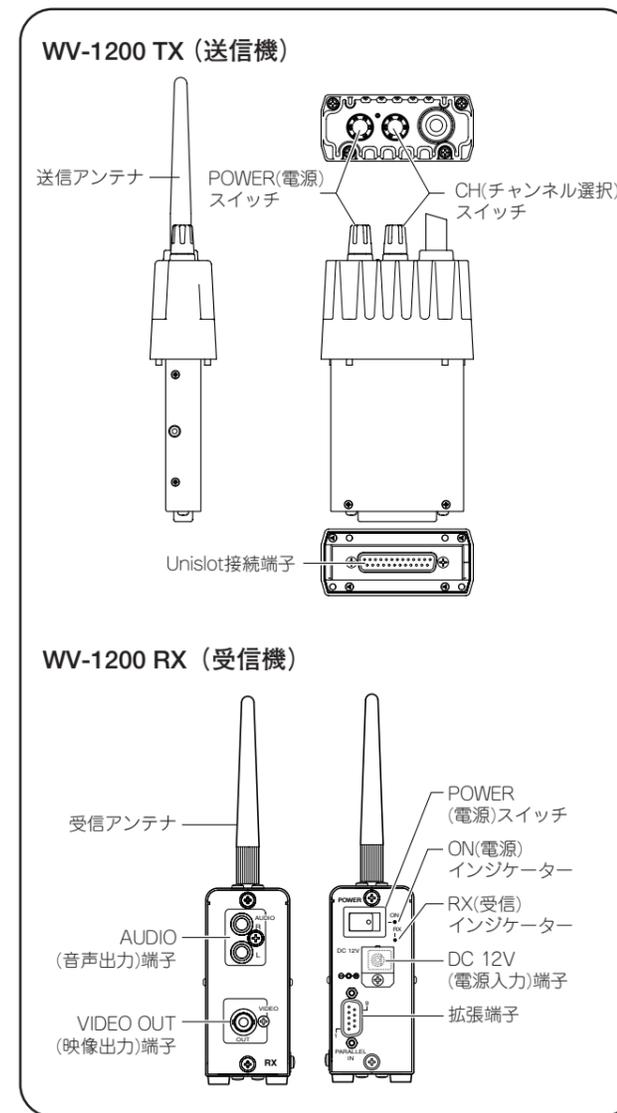
電波に関する注意

本製品を下記のような状況で使用するのはおやめください。

- 心臓ペースメーカーをご使用の近くで、本製品をご使用にならないでください。ペースメーカーに電磁妨害を与え、生命の危険があります。
- 医療機器の近くで本製品をご使用にならないでください。医療機器に電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
- 電子レンジの近くで本製品をご使用にならないでください。電子レンジによって正常な通信が出来ない場合があります。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学·医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、販売店またはD&Mホールディングス プロフェッショナルビジネスカンパニーへご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合等、何かお困りのことが起きたときは、速やかに販売店またはD&Mホールディングス プロフェッショナルビジネスカンパニーへお問い合わせください。

各部の名称

機器の構成について

WV-1200 TX（送信機）

品　目	型　名	数　量
本体	WV-1200 (TX)	1
アンテナ	YR01009010	1
取扱説明書		1
ステッカー		1
保証書		1

WV-1200 RX（受信機）

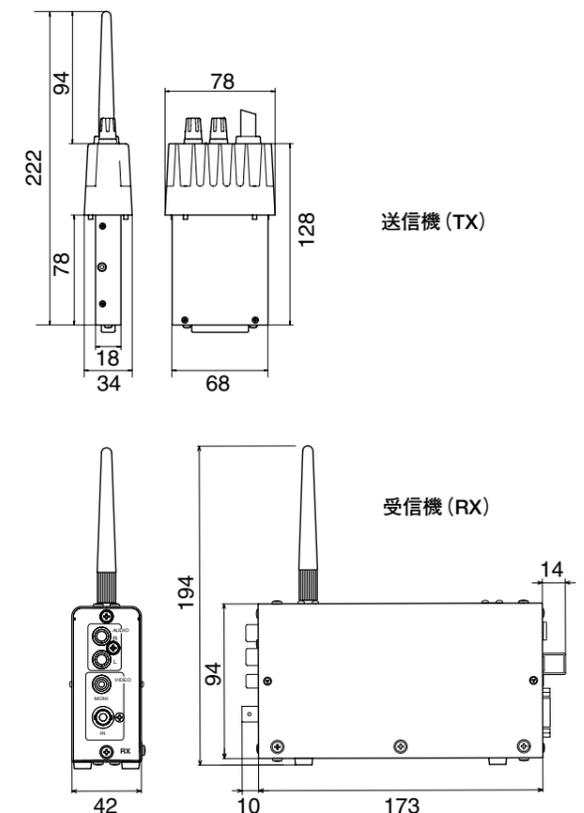
品　目	型　名	数　量
本体	WV-1200 (RX)	1
アンテナ	YR01009010	1
ACアダプター	CAA01	1
ブラケット		1
ブラケット取付け用ネジ	4mm木ネジ､5mmボルト	各4

仕　様

		項　目	仕　様	
一般特性	TX	電源電圧	DC11～16V （カムコーダーより供給）	
		消費電力	6W	
	RX	電源電圧	AC100V ±10% 50 /60 Hz	
		消費電力	AC 0.2A at AC100V （付属ACアダプター）	
	使用温度範囲		0℃ ～ ＋40℃	
	TX	寸　法	78 mm × 128 mm × 34 mm （幅×高さ×奥行き、突起部含まず）	
		質　量	380 g	
	RX	寸　法	173 mm × 94 mm × 42 mm （幅×高さ×奥行き、突起部含まず）	
		質　量	900 g	
無線系	標準規格		ARIB STD-T66	
	チャンネル数		3 + 1自動	
	チャンネル周波数		CH-1	2,412 MHz
			CH-2	2,442 MHz
			CH-3	2,472 MHz
			CH-4	CH-1～3の自動選択
	送信電力		0.002 W/MHz	
	通信方式		単信方式	
	電波方式		スペクトラム拡散	
	拡散方式		DS	
	伝送速度		11Mbps/CCK	
映像/音声系	信号方式		NTSC	
	フレームレート		30フレーム/秒 インターレース方式	
	圧縮／伸張方式		MPEG-2	
	映像入/出力		コンポジット信号 1.0Vp-p/75Ω	
	伝送速度		6 Mbps	
	音声入/出力		0.6 Vp-p Typ.	

外形寸法

送信機（TX）

受信機（RX）

操作及び接続手順

1. 受信機の取り付け

受信機の取り付けには付属のブラケット（取付金具）と4mm木ネジ（または5mmボルトとナット）を使用します。
取り付けの前に、「アンテナについて」を参考にして、適切な取り付け位置を検討してください。

取り付け順序

図を参考に、以下の順序で取り付け作業を行ってください。

1. 電源スイッチをオフにしてください。

2. 付属ブラケットを取り付け面に固定します。
- 取り付け面が木材の場合は、付属の4mm木ネジを使用してください。
- 取り付け面が金属板の場合は、付属の5mmボルトとナットを使用してください。

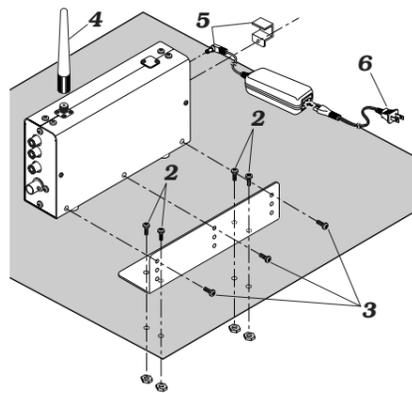
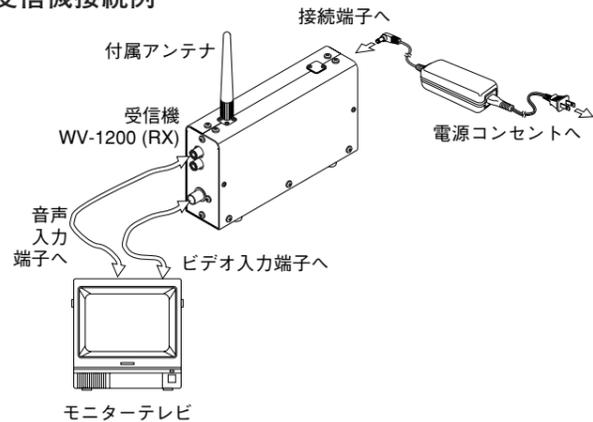
3. 本体をブラケットに取り付けます。
- 本体に装着されているネジを一度外してください。本体とブラケットの取付には、本体に装着されているネジを使います。

4. 付属アンテナをアンテナ端子へねじ込みます。

5. 付属ACアダプターのプラグを本体に接続します。
- 付属ACアダプターのプラグを本体に接続する前に、プラグ外れ防止金具を取り外してください。
- プラグ外れを防止するため、この金具はプラグの接続後再度取り付けてください。

6. ACプラグを電源コンセントに差し込みます。
- ACプラグを電源コンセントに差し込む際には、電源ケーブルとACアダプター本体がしっかり接続されていることを確認してください。

注　意

付属のACアダプターは、AC100V 50/60Hz以外の電源とは接続しないでください。

受信機接続例

2. 送信機の取り付け

取り付け手順

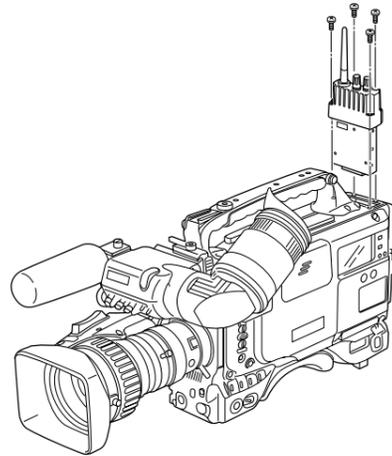
1. 送信機の電源とカムコーダーの電源をオフにしてください。

2. カムコーダーのUnislot端子のカバーを外します。

3. 本体をカムコーダーのUnislotに挿入します。
※送信機のアンテナが、カムコーダーの後から見て右側になるよう挿入してください。
※送信機とカムコーダーのすきまが無くなるまで差し込みます。

4. 送信機をビス4箇所でカムコーダーに締め付けます。

5. 付属アンテナを本体に取り付けます。

6. 装着後、カムコーダー、本機の電源スイッチをオンにします。
※本体への電源は、カムコーダーより供給されます。

注　意

送信機は、使用中ケースが高温になります。使用後取り外しをする場合はご注意下さい。

3. 設置作業での注意事項

- 本機で使用している2.4GHz付近の電波を発生する機器の近くを避けて設置してください。
（例：電子レンジなど）。
- 送信機と受信機の間に電波伝搬を妨害する壁などが無いように設置してください。
- 本機は防滴・防塵構造にはなっていません。
屋外に設置する場合には、防滴・防塵対応のハウジングを別途用意してください。
- 付属のACアダプター以外での動作は保証されていません。
必ず付属のACアダプターを使用してください。
- マルチパスが発生しやすい環境への設置は避けてください。
（例：狭い通路など）
※マルチパスが発生すると、映像・音声が途切れる原因となります。

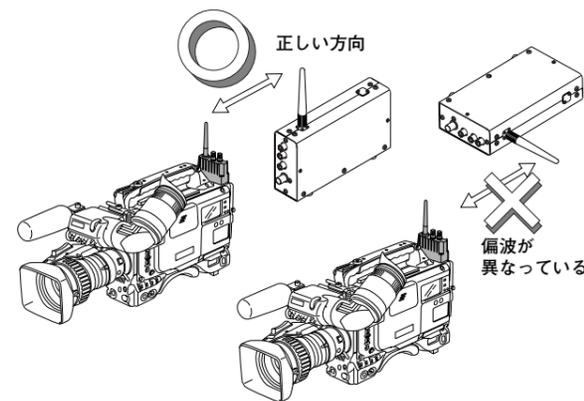
アンテナの位置関係について

高い周波数の電波を使用しているため、電波の直進性が高くかつ廻り込みが少なくなっています。したがって、送信機と受信機の間に電波障害物がなくアンテナがお互いに見え、かつ壁から充分離れた位置に設置してください。

アンテナの高さについて

送信アンテナと受信アンテナの間に電波障害物があると電波の影ができ電波が届きにくくなります。最適な伝送状態を得るためには送信側および受信側のアンテナの位置が高くお互いに見えるように本体を設置してください。また、アンテナの方向にも注意してください。伝送距離はアンテナの設置状況、周囲の電波環境などにより大きく影響を受けます。

アンテナの方向について

本機の性能を充分に発揮させるために送信機と受信機のアンテナの方向に注意してください。正しい方向以外の設置をされますと伝送距離が短くなったり妨害を受けやすくなり本機の性能が充分に発揮できなくなります。

4. 使用上の注意事項

- 本機には、受信状態が悪くなり正常な伝送が維持できなくなった場合、受信側で直前の映像を静止画で表示する機能をもっています。
- 通信距離は、環境により大きく変わります。送受信機の間に以下のような障害物がある場合は通信距離が短くなります。

1）コンクリート、木、樹脂などでできた壁
2）木立、葉などの植物
3）車などの金属でできた物質

注　意

本製品は、付属アンテナ又は、指定の外部アンテナ、同軸ケーブルの組み合わせで技術基準適合証明を受けています。指定以外の組み合わせで使用すると電波法に基づき罰せられることがあります。

5. 動作確認

1. 送信側と受信側の本体および接続されている各機器の電源を投入します。

2. 送信側のCHスイッチを1〜3の適当なチャンネルに選択してください。

3. 「受信機の取り付け」および「送信機の取り付け」の項を参考に接続と設置が確実に行われていることを確認してください。

4. 電源投入後約15秒後にモニターテレビに映像が映ります。この時、受信機の受信インジケーターの色を確認してください。

受信インジケーターの状態	電波の状態
緑色に点灯	安定に受信
赤色に点灯	電波が弱い
点灯せず	受信できず

約20秒以上経過しても正常に映像が受信できない場合、またはRXインジケーターが安定して緑色に点灯しない場合は以下の項目を確認してください。

- 各機器の電源が確実に入っているか。それぞれの機器のONインジケーターなどで確認します。
- 送信側および受信側の各接続が確実に行われているか確認してください。
- 「アンテナについて」の項を参照して、送信側および受信側のアンテナ位置および電波障害物の有無を確認してください。
- 混信による障害の可能性があります。送信側のチャンネルスイッチを他のチャンネルに変更してみてください。
- 上記を行っても受信状態が良くならない場合は、高利得アンテナの採用を検討してみてください。

故障修理について

- 下記の故障診断を行なった結果、機器内部の故障と判断された時は速やかに販売店またはD&Mホールディングス プロフェッショナルビジネスカンパニーにご相談下さい。

	点検個所	点検内容
1	アンテナの点検	コネクタの緩み、アンテナの曲がり
2	電　源	バッテリー電圧、電源コードの異常、電源インジケータ
3	接続ケーブル	コネクタの緩み、ケーブルの傷

（株）D&Mホールディングス
プロフェッショナルビジネスカンパニー

〒104-0033
東京都中央区新川一丁目21番2号　茅場町タワー13階
TEL : (03) 6731-5588
E-mail : pro-gr@marantz.co.jp

Printed in Japan　　08/2004 ecmh　　00M16BS851010
この取扱説明書は、再生紙を使用しています。